

平成33年度岡山県立大学入学者選抜における変更について(予告)

平成30年6月19日

平成33年度岡山県立大学入学者選抜を次のとおり変更する予定ですので、お知らせします。

なお、内容は、現時点のものであり、今後の状況により変更となる場合があります。この他の変更内容については、平成30年度中に本学ホームページ等で公表する予定です。

記

1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）の改訂

平成33年度入学者選抜から岡山県立大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を別紙のとおり改訂します。

2 入試区分の変更

入試区分の名称を次のとおり変更するとともに新たに一部の学部、学科において総合型選抜の導入を検討し多様な学生の受入れを図ります。

<平成32年度入学者選抜>

<平成33年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所

入試区分	入試区分
<u>一般入試</u>	<u>一般選抜</u>
<u>推薦入試</u>	<u>学校推薦型選抜</u>
	<u>総合型選抜</u>

3 大学入学共通テストの活用

全ての学部・学科の一般選抜及び一部の学科の学校推薦型選抜、帰国生入試の入試区分において平成33年度から実施される大学共通テストを本学の入学者選抜における合格者判定に活用します。また択一式問題に加え記述式問題の結果も活用

します。

4 英語の外部検定試験の活用

全ての学部・学科の一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜の入試区分において英語の4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）の評価を行うため、一般選抜では独立行政法人大学入試センターが認定した資格・検定試験及び大学共通テストの英語試験（択一式問題（リスニングを含む））を、学校推薦型選抜及び総合型選抜では英語外部試験を活用します。なお、英語の4技能評価に当たってはいずれの入試区分においても加点方式を採用します。

5 学力の3要素の評価

全ての入試区分において、学力の3要素（※）を評価します。

（※）学力の3要素

- ①「知識・技能」
- ②「思考力・判断力・表現力」
- ③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」

6 調査書等の活用

全ての入試区分において、調査書等（志願者本人が記載する資料等）を合否判定に活用します。

岡山県立大学の入学受入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

【岡山県立大学の教育を通じて発展・向上させる能力】

本学は、建学の理念である「人間尊重と福祉の増進」の実現に向け、人間・社会・自然の関係性を重視した研究と教育を行い、豊かな人間性と教養を兼ね備え、深い専門性をもって主体的に課題発見・解決に取り組むことにより、グローバル化が進展する中、地域社会から広く国際社会において活躍し、新しい時代を切り拓くための能力と意欲を有する人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

本学は、人材育成の方針に基づき、本学での学びに適う能力及び素養を、入学者が備えるべきものとして、以下のとおり定めます。

本学は、学生に高等学校において主体的で継続的な学習により幅広い分野での基礎学力を身につけていることを求めるとともに、これらの知識に基づく論理的な思考力や表現力、基礎的な英語力を含めたコミュニケーション能力ならびに人間性や倫理観などの素養を磨いておくことを求めます。

【入学選抜の基本方針】

本学は、入学者に求める能力・素養を有しかつ、多様な学生を受け入れるため、以下の選抜の方針を基本として、教育課程ごとに定められた入学受入れの方針に従い、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜などの入学選抜の機会を設けます。

一般選抜では、教科に関する知識・理解及び思考力・判断力・表現力を評価する学力検査を重視し、さらに高等学校で修得した教科の学習成績及び主体的学習活動の成果を評価するために調査書等や面接を活用した選抜を行います。

また、学校推薦型選抜では、本学での学習の準備状況及び意欲を評価する面接を重視し、さらに教科に関する知識・理解及び思考力・判断力・表現力に関する学力検査ならびに高等学校で修得した教科の学習成績及び主体的学習活動の成果を評価するために調査書等を活用した選抜を行います。

さらに、総合型選抜では、地域社会の発展に貢献する意欲ならびに主体的学習活動の成果をふまえて多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する調査書と面接を重視し、さらに思考力・判断力・表現力を評価する学力検査による選抜を行います。

以上のほか、課程により帰国生入試及び私費外国人留学生特別入試を実施し、多様な人材の受入れを行います。

なお、各教育課程の入学選抜における選抜方法及び評価基準については、以上の選抜の方針をふまえた上で、課程ごとの入学受入れの方針に示されます。